

# 千々石地域審議会

## 答 申 書

平成28年3月29日

千々石地域審議会

# 目次

「農業者の高齢化と後継者不足の問題について」・・・P1

「農業・水産業の振興について」・・・P2

「高齢者も利用しやすい商店街づくりについて」・・・P2

「雇用対策も含めた新たな企業誘致、既存企業の育成や商業の活性化など、産業面の活性化について」・・・P3

「国道57号線の災害時の代替道路となる愛野小浜バイパスの整備について」・・・P3

「河川公園、自然公園、白砂青松を活かした海浜公園の整備について」・・・P3

「ごみの分別に対しての市民の意識作りに向けた取組みについて」・・・P4

# 答 申 書

雲仙市長 金澤 秀三郎 様

平成27年5月18日付けで諮問のあった事項について、当地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

## 記

### **新市建設計画(総合計画)の執行状況に関する事項について**

[農業従事者の高齢化と後継者不足の問題について]

高齢化による離農や廃業が進むとともに農業後継者が育成されにくい状況にあり、農業の人材不足は深刻な課題となっております。農業従事者の雇用確保対策を含めた農業を取り巻く環境の整備が求められます。

- ・ 農業従事者の高齢化への対策として、農業に携わりたいという思いを持つ人材を、農繁期における期間労働者として受け入れるなど、地域農業の存続を図る対策が求められます。
- ・ 農業所得の安定を図る対策に継続して取り組むとともに、

こうした状況の中にあっても、地域農業を伝え守ることができるよう指導者の育成に取り組む必要があります。

- ・機械が入らない農地は、耕作放棄地となることが多く、山間部などに荒れ地が集中しております。農地の集積を図るためには、農地中間管理機構の取り組みを促進する必要があります。

#### [農業・水産業の振興について]

- ・地域農業が厳しい状況にある中で、認定農業者を中心として、地域貢献度の高い取り組みの実施が求められます。
- ・水産業においては、漁獲量が減少し続けております。稚魚、稚貝の放流など、漁場の環境保全の取り組みが継続して求められます。

#### [高齢者も利用しやすい商店街づくりについて]

- ・買い物弱者の対策として、移動販売が実施されていましたが、採算がとれず継続した取り組みとはなりませんでした。しかしながら、このことは、山あいの集落に居住する高齢者にとって、必要な取り組みであると考えられ、移動販売に取り組む事業者に対する市の支援を実施することで事業者の参画を促す必要があります。
- ・本地域では、車を所有する住民が、近隣の住民を連れてスーパーマーケットなどに買い物に出掛けるなど地域内で住民間の協力関係の構築が見受けられます。こうした取り組みを地域内に拡大させるため、燃料費の補助などの市の支

援が求められます。

[雇用対策も含めた新たな企業誘致、既存企業の育成や商業の活性化策など、産業面の活性化について]

- ・ 基幹産業である農業の振興は重要施策であります。大規模農家の育成に取り組むことで、年間を通じた雇用の創出が期待されます。
- ・ 雇用対策については、本地域の通勤圏が拡大していることから、宅地開発、住環境の整備に重点的に取り組むことにより、本地域の発展に寄与することに繋がると考えられます。

[国道57号線の災害時の代替道路となる愛野小浜バイパスの整備について]

- ・ 災害対応のためにも、救急車両の進入が困難な生活道路の改善については、早急な対応が求められます。
- ・ 国道57号線の拡幅改良に加え、周辺の道路整備を行なうことで、広域農道や、建設予定の島原道路へのアクセスが容易になり、災害面の対応や、本地域の交通環境の向上が図られるため、愛野小浜バイパスを整備することに優先して、検討を行なうべきであると考えられます。

[河川公園、自然公園、白砂青松を活かした海浜公園の整備について]

- ・ 千々石海岸の砂の減少が見受けられます。自然環境の整備については、予算を確保し、長期的な計画のもと、砂減少

対策及び植樹を実施するなど継続的な取り組みが必要です。

- ・地域住民のボランティア意識を醸成し、海岸清掃など積極的な参加を呼び掛ける取り組みが必要です。

[ごみの分別に対するの市民の意識作りに向けた取り組みについて]

- ・ストックハウスの取り組みは、地域に根付き始めておりますが、ストックハウスの実施日が日曜日に限られていること、朝の早い時間に回収できないことにより利用できない住民が少なからず存在しています。ストックハウスの実施回数を増やし、開始時刻を早める対応ができないか等の検討が必要です。

なお、本計画は新市を建設していくため、長期的視野に立って策定されたものであり、本答申で指摘した事項を始め、市が行う諸施策の展開については、健全な財政運営を常に心がけ、地域や市民と協働のもと、計画に示される将来像の実現に向けた弛まぬ努力を行なっていく必要があります。

## **地域振興に関する事項について**

別紙、提言書のとおりとする。

平成28年3月29日

千々石地域審議会  
会長 古賀 大八郎